



(社)日本山岳協会創立50周年記念

# 第49回全日本登山体育大会 静岡大会 開催要項

「霊峰 富士山を仰ぎ見る山々」

*富士山と南アルプスの自然保護を考える*

期日 平成22年10月22日(金)～24日(日)

会場 静岡市、富士市、富士宮市、御殿場市



主催 (社)日本山岳協会

主管 静岡県山岳連盟

後援 文部科学省 環境省 (財)日本体育協会(以上予定)  
静岡県 静岡県教育委員会 (財)静岡県体育協会  
静岡市 静岡市教育委員会 (財)静岡市体育協会  
富士市 富士市教育委員会 富士市体育協会  
富士宮市 富士宮市教育委員会 富士宮市体育協会  
御殿場市 御殿場市教育委員会 御殿場市体育協会

第49回全日本登山体育大会 静岡大会開催要項  
「霊峰富士山を仰ぎ見る山々」 富士山と南アルプスの自然保護を考える -

「目的」社団法人 日本山岳協会の創立50周年を記念し、全国の岳人が集い富士山麓の自然にふれあい、仲間と共に登山することにより登山技術の向上と相互の親睦、交流を図ることを目的とする。また、自然保護精神の高揚を図り、富士山の美しい自然を未来に継承することを誓うものである。

1. 開催期日 : 平成22年10月22日(金) ~ 24日(日)
2. 開催場所 : 静岡県静岡市・富士市・富士宮市・御殿場市
3. 主催 : (社) 日本山岳協会
4. 主管 : 静岡県山岳連盟
5. 後援 : 文部科学省 環境省 (財) 日本体育協会 (以上予定)  
静岡県 静岡県教育委員会 (財) 静岡県体育協会  
静岡市 静岡市教育委員会 (財) 静岡市体育協会  
富士市 富士市教育委員会 富士市体育協会  
富士宮市 富士宮市教育委員会 富士宮市体育協会  
御殿場市 御殿場市教育委員会 御殿場市体育協会

6. 日程

第一日目 10月22日(金)

- 13:30 受付開始(静岡駅前 ホテルアソシア静岡)
- 14:30 開会式(ホテルアソシア静岡)
- 15:00 講演「富士山と南アルプスの自然保護」(予定)  
- 静岡県の高山植物保護の取り組み  
鵜飼一博(日本山岳会会員)
- 18:00 懇親会(ホテルアソシア静岡)  
宿泊 静岡駅周辺ホテル(2日間同一ホテル)

第二日目 10月23日(土)

- 07:30 宿舎出発(出発時間はコースにより異なります)
- 16:00 登山終了
- 16:30 後夜祭(御殿場高原ビール麦畑)
- 17:50 終了後バスにて宿舎に移動
- 19:00 宿舎到着  
宿泊 静岡駅周辺ホテル

第三日目 10月24日(日)

- 09:00 閉会式(静岡市商工会議所ビル)
- 10:00 解散  
解散後、周辺観光オプションツアー予定(希望者のみ)

開会式会場: ホテルアソシア静岡

住所: 〒420-0851 静岡県静岡市葵区黒金町5-6

TEL:054-254-4141 <http://www.associa.com> JR 静岡駅北口

## 7. 登山コース

- Aコース(40名) 毛無山コース：麓～毛無山～地蔵峠～麓  
Bコース(80名) 天子ヶ岳～長者ヶ岳コース：立石～天子ヶ岳～長者ヶ岳～田貫湖  
Cコース(80名) 越前岳コース：十里木～越前岳～勢子辻  
Dコース(80名) 宝永山コース：富士宮口～宝永山～御庭～御殿場口)  
Eコース(40名) 田貫湖自然観察コース：田貫湖周辺～自然観察  
各コースは静岡県山岳連盟所属の山岳会が担当します。

## 8. 参加資格

- (1) 都道府県山岳連盟(協会)より推薦を受けた者
- (2) (社)日本山岳協会の役員、参与及び賛助会員
- (3) 地域の登山普及を図るため、特に認めた者

## 9. 参加申込み

- (1) -1、参加者は、別添「参加申込書」に必要事項を記入し記載責任者捺印の上  
トップツアー(株)静岡支店まで FAX 送信して下さい。尚、その際、併せて  
「参加申込書」裏面の「参加費等振込み明細書」も FAX 送信していただき  
くようお願いします。  
2、記載責任者は「参加申込書」のコピーを所属山岳連盟(協会)に提出し  
て下さい

トップツアー(株)静岡支店 〒420-0853 静岡市葵区追手町9-28(興産ビル8階) TEL:054-255-1919 FAX:054-252-9509 担当:長谷川 吉田 平日:09:10~17:45 土曜日:09:10~13:10 日曜・祝日休業
--

### (2) 参加費の納入先

指定金融機関名：三井住友銀行静岡支店

口座番号：普通預金 2022629

口座名義：トップツアー株式会社静岡支店(電話番号：054-255-1919)

### お振込の際のご注意

振込手数料は参加者負担とさせていただきます

現金10万円以下の場合はATMにて振込可能です

現金10万円を超える場合はATMでの振込はできません

キャッシュカードでの振込の場合10万円を超えても振込可能です

現金書留での支払いも可能です。郵送の際は「全日登山大会御中」と明記して  
送付下さい

領収書が必要な方は「参加申込書」裏面の「領収書発行依頼書」に必要事項  
記入の上 FAX 送信下さい。

(3) 申込み期間

平成22年7月1日(木)～8月31日(火)

定員になり次第締め切ります(定員320名)

(4) 参加費 33,000円

宿泊費、食費(大会中の全食事)、輸送費含む

(5) 登山コース決定通知について

希望者数の多少により大会事務局で調整させていただくこともあります。必ず第二希望までご記入ください。締切り後、トップツアーより登山コースの決定通知をさせていただきます。(9月15日頃予定)

(6) 参加費の返却について

特別の事情で大会への参加が不可能になった場合、次ぎのとおり取扱をさせていただきます。尚、返金清算は大会終了後となります。

参加納入後、平成22年8月31日(金)までに参加の取り消し通知があった場合参加費の90%を返却します。

参加納入後、平成22年9月22日(水)までに参加の取り消し通知があった場合参加費の50%を返却します。

前記、以外の不参加については参加費は返却致しません。

10. 事務連絡事項

(1) 宿泊施設及び部屋タイプの通知は9月15日頃ご連絡させていただきます

(2) 大会受付時に「コース案内」「名札」等を配布します

(3) 大会並びに山域等に関する問合せ先

【大会事務局】〒422-8076 静岡市駿河区八幡3-1-17

静岡県山岳連盟 事務局 TEL・Fax 054-288-7512

E-mail: sma-takida@uv.tnc.ne.jp

(4) 岳連(協会)旗については、10月15日(金)までに大会事務局へ送付下さい

(5) 参加者は「日本山岳共済会保険」にできる限り加入するように願います

(6) 参加者は各自大会中の飲物、行動食、非常食を準備下さい

(7) 大会第2日目10月23日登山日の昼食は弁当を支給いたします

(8) 前泊、後泊、大会終了後のオプションツアーへの申込みは別添の「参加申込書」に必要事項記入のうえ送付願います。費用については大会参加費と併せてお振込下さい。

## 登山コースの案内

### Aコース

### 毛無山

麓～0:30～地蔵峠分岐～1:10～五合目～1:30～山頂稜線～0:10～頂上～1:10  
～地蔵峠～1:30～分岐～0:20～麓

歩行距離 7km

歩行時間 6時間10分

毛無山（けなしやま）は天子山塊の最高峰であり、登山口から頂上までの標高差が約1200mもあるが、富士山の展望の素晴らしい山として、四季を通じて多くの登山者や写真愛好家が訪れている。

麓山の家からスタートし、舗装道路を集落の外れのみで行くと車止めがある。右手の奥の神社を見ながら幅広の道を進むと林道に入る。林道沿いに歩き左側の山道に入る。沢を横断し、対岸に出てヒノキ林の中を少し登ると、地蔵峠（じぞうとうげ）への分岐となる。右にコースを取り、樹林帯の中をジグザグにしばらく登ると、不動の滝見晴台に着く。周囲の山々の中に一条の白い瀑身がひとときわ光って見える。登山道には一合目から九合目の標識がほぼ等間隔に取り付けられているので目安にしながら登るとよい。苦しい登りをコツコツと登ると小さな広場に出る。レスキューポイントの標示があり、ヘリコプター救出可能場所と記されている。この上が五合目である。さらに急な登りを続けると、富士山展望台に着く。道は平坦となり間もなく尾根に出る。右にコースを取り、山頂に向かう。途中、南アルプスが展望できる展望台がある。頂上（1946m）には一等三角点があり、ここからの展望は何といっても眼前に迫る富士山の景観である。頂上からは県境稜線を西に向かって進み急坂を下って地蔵峠に着く。地蔵峠からは麓部落に向かい急なガレ場を下り、途中ロープを使い沢に降りて横断する。右手の沢に沿うように下り、沢を数度横断すると山頂へ向かう分岐に出る。登りに使った道を麓まで下る。

### Bコース

### 天子ヶ岳～長者ヶ岳

白糸～0:20～立石～0:20～駐車場～2:00～天子ヶ岳～0:50～長者ヶ岳～0:50  
～休暇村分岐～0:30～休暇村～0:20～田貫湖キャンプ場

歩行距離 11km

歩行時間 4時間20分

天子ヶ岳から長者ヶ岳、田貫湖のコースは東海自然歩道にもなっているのでいつもハイカーでにぎわっている。

白糸の滝を後にして県道を西に進むと立石のバス停がある。立石の交差点を西に進み、佐折の集落を抜けると静かな林道となって山へ入って行く。左の立ち木の中に白山神社を見送って、橋を渡ると駐車出来る広場に着く。左方の大きな案内板に従い登山道を登ると、山腹の広い林道に出る。林道を横切り、尾根に取り付き、いよいよ登りが始まる。ひとしきり上ると右側に林道掘削の工事現場が見える。ここからは道は緩やかになり、正面に天子が岳の頂上が木立の間から見えるようになる。道幅の広い登山道は左がヒノキ林、右が桜の木と続く。再び道はジグザグを切った急な登りとなる。頂上直下に向けての苦しい登りである。途中から右下に田貫湖が見え、後ろには富士山、愛鷹連峰の山々が一望できる。南面から尾根をまくように進み、稲子の入山への分岐が現れると、頂上はすぐそこである。天子ヶ岳(てんしがたけ)の山頂(1330m)は広く、モミやシラベ、プナやヒメシャラなどの樹林に覆われ伝説のお姫様を祀った小さな祠がある。

北へ長者ヶ岳(ちょうじゃがたけ)へと続く稜線を600mほど下った鞍部が東海自然歩道の佐野への分岐点であり左に下っている。この鞍部から上りつめた所が長者ヶ岳(1336m)である。山頂の眺望は素晴らしく剣が峰、大沢崩れを正面にした富士山、又眼下の朝霧高原はまるで箱庭のようだ。ここから東へ向かい急降となり田貫湖への下りが始まる。しばらく下ると休暇村富士への分岐に出る。林間の中を下ると田貫湖の散策コースに出る。左にコースをとり湖面に映る富士山の眺めながら進むと、田貫湖キャンプ場に着く。

## Cコース

## 越前岳

十里木～0:15～展望台～0:30～馬の背～1:20～越前岳～0:45～高場所分岐～0:30  
～高場所～0:20～勢子辻 分岐～1:00～勢子辻

歩行距離 7.5 km

歩行時間 4時間20分

越前岳(えちぜんだけ)(1504m)は愛鷹連峰(あしたかれんぼう)の最高峰で、大きな宝永火口を持つ富士山を間近に眺めることができる。

十里木(じゅうりぎ)高原の駐車場の横から登山道に入り、山の上に見える電波塔を目指して登る。展望台を過ぎ電波塔の先から尾根を登るようになる。しばらく緩やかな道が続き馬の背につく。ここから道は樹林帯の中の急登となる。勢子辻(せこつじ)からの登山道と合流すると山頂すぐである。山頂からは樹林越しに富士山が見え、南西面は愛鷹連峰、駿河湾、天城連山が見渡せる。山頂からは南の尾根を急下降するが程なく緩やかな歩きやすい道となる。高場所分岐点で主稜と別れ右折する。最初は急降下だが、少しすると緩やかな下り

となり、のんびり歩いて行くと高場所（たかばしょ）展望台に着く。更に尾根通しに進むと杉林に入り、ほぼ平らになると勢子辻への分岐で右の道を取り、尾根を離れて杉林を急降下する。再び杉林に入り、なおも下り続けると涸沢にぶつかる。ここを渡ると林道に出て少し進むと本林道に合流する。そこから200mくらい進むと斜め右方向へと細い林道があるので、そちらに進むと勢子辻に出る。

## Dコース

## 宝永山

富士宮口～0:25～六合目～0:10～宝永火口縁～0:10～火口底～1:10～宝永山～0:40～火口底～0:25～第二火口～0:50～御殿庭入口～1:35～御殿場口

歩行距離 10.6 km

歩行時間 5時間20分

宝永山（ほうえいざん）は宝永大噴火で誕生した側火山である。富士山南東斜面の位置にあり標高は2,693 mである。巨大な噴火口は第一、第二、第三の連続火口となっており一瞬にして三つの火口を出現させた宝永噴火の凄まじさを物語っている。特に第一火口の十二薬師と呼ばれる火口壁は圧巻である。

富士登山道の富士宮口五合目から出発する。指導センターの前から登山道に入り、火山礫の道を登る。樹木がなくなり、なだらかな道を進むと六合目の山小屋に着く。ここで富士山頂コースと分岐し宝永山コースに入る。平坦な道を進むと宝永火口の縁に出る。巨大な噴火口と宝永山が一望できる。分岐からコースを左にとって火口底に向かう。底は予想以上に広く、あまり奥へ入ると落石があるので十分注意したい。この先宝永山側に付けられた火山礫の道を登る、徐々に斜度もきつくなる。火口縁にでた所で右に少し登れば山頂である。山頂からは箱根連山から伊豆の山々、愛鷹山、駿河湾が手にとるように見える。下りは富士宮側の火口縁まで来た道を戻る。火山礫の急坂を下り、五合目への分岐の下から第二と第三宝永火口間の縁の稜を下る。最底部から第二、第一火口を見上げると迫力万点である。ここからは、第三火口の中にある踏み跡を下って行く。砂地の道を下って行くと、カラマツ林に入る。道は急な斜面となり、やがて沢筋を左に越すと、林から抜け出し展望が良くなる。その先道は平坦になる。再びカラマツ林の中の道を歩き進むと、すぐに林を抜け、広大な砂石の世界が開ける。この先に、二段になって丘を形作る双子山の美しい曲線が見られる。コルに向けて進む。双子山の上下の真ん中のコルを過ぎ、傾斜がきつくなった砂地の道を下って行くと五合目の駐車場に着く。

田貫湖～0:30～小田貫湿原～0:30～陣馬の滝～0:30～井の頭公園～1:00～麓山の家  
歩行距離 11 km  
歩行時間 3 時間

田貫湖（たぬきこ）南側駐車場をスタートし右回りに湖畔を回る。休暇村富士の前がダイヤモンド富士のビューポイントである。4 月と 8 月の中旬には富士山頂から朝日が昇り、ダイヤモンドのように輝く富士山と湖面に映る逆さ富士は見事なアングルである。右手の湖と富士山を眺望しながら進むと北側のバンガローサイトに出る。この先の長者ヶ岳から伸びる尾根の末端が長者ヶ岳登山道の入口である。東海自然歩道は北の朝霧高原の方から南に向かいこの登山道につけられている。ここから東海自然歩道を北上することとなる。すぐに小田貫湿原（こだぬきしつげん）が現れてくる。小田貫湿原は静岡県側の富士山麓では唯一の低層湿原で大小 125 余りの池が点在し、春から秋まで希少な植物や生物の生態を観察することができる。湿原を後に北上すると陣馬の滝、遠照寺（おんしょうじ）が現れる。陣馬の滝は、五斗目木川（ごとめきがわ）にかかる滝で、上流からの水の流れと、溶岩層の隙間から流れ出す水とで滝をなしている。滝の名のいわれは、源頼朝が富士の巻狩りで近くに陣を張ったことからとされている。遠照寺の境内には源頼朝によって発見されたといわれる太鼓石がある。ここ井の頭周辺では溶岩層からの湧水が豊富でニジマスの養殖やわさびの栽培に利用されている。井の頭公園から天子山塊の山裾を北上すると麓の吊り橋に出る。朝霧高原と調和した美しい富士山が素晴らしい。橋を渡り左折すると間もなく麓山の家に着く。麓地区は、戦国時代から江戸時代に麓金山として栄え、最盛期には戸数 1000 軒にも達し、「麓千軒」といわれていた。毛無山の登山道でも金鉱石採掘の跡を見ることができる。

1 / 25000 地形図  
1.25km

雨ヶ岳

富

丸

東

富

土

宮

市

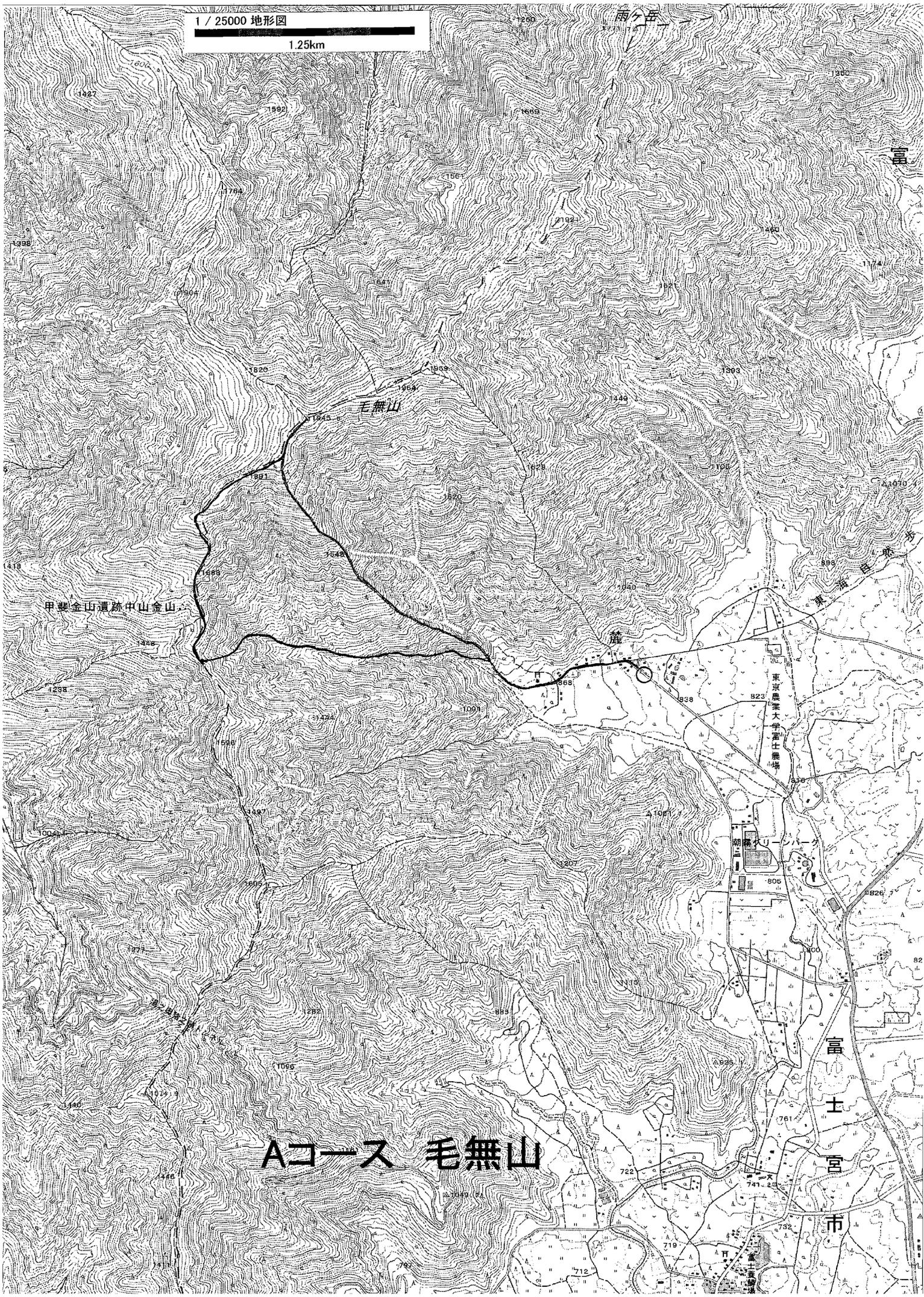
毛無山

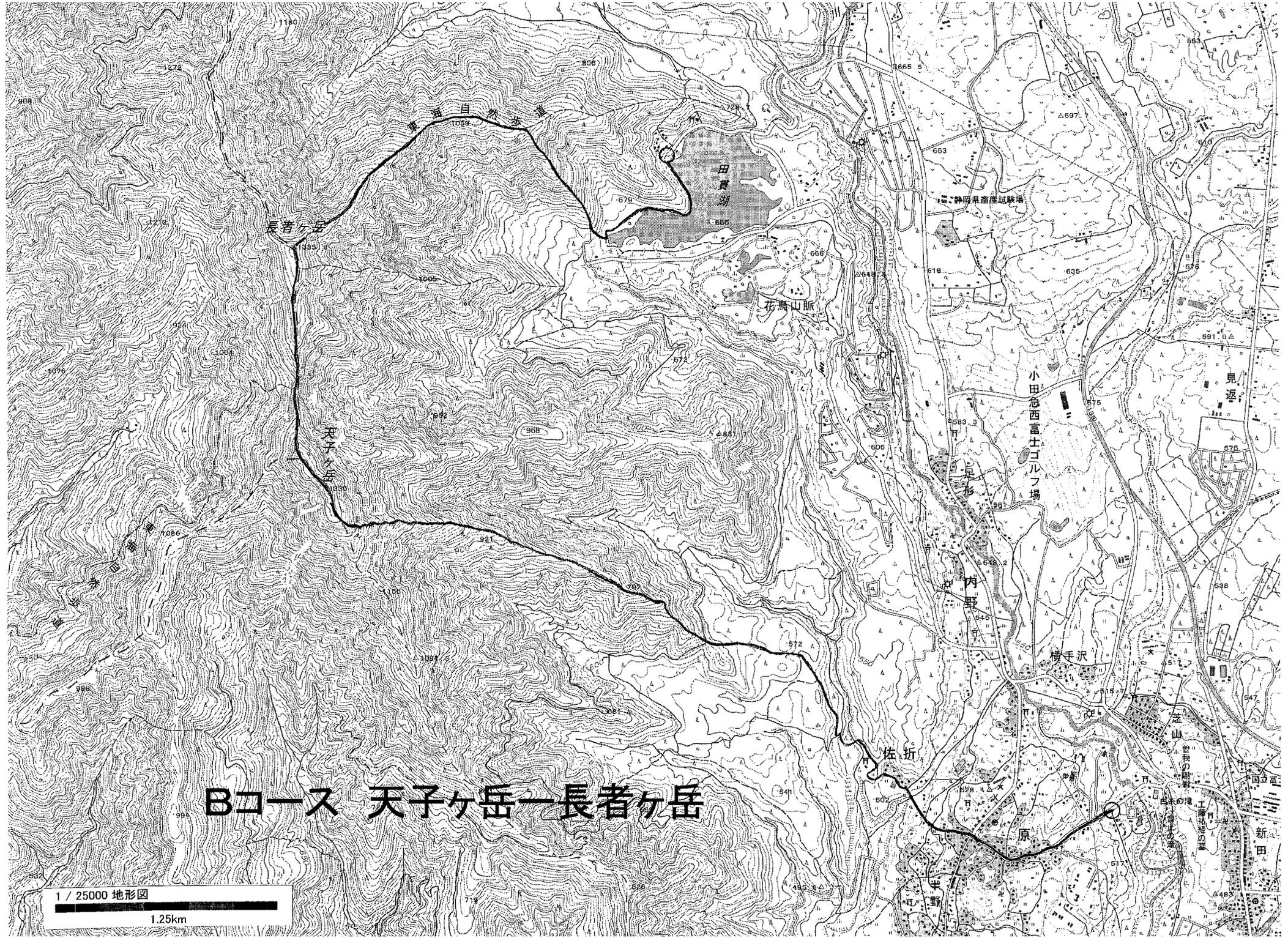
甲斐金山遺跡中山金山

麓

東京農業大学富士農場

Aコース 毛無山





自然歩道

長者ヶ岳

天子ヶ岳

田貫湖

花巻山脈

小田急西富士ゴルフ場

巨杉

内野

榎手沢

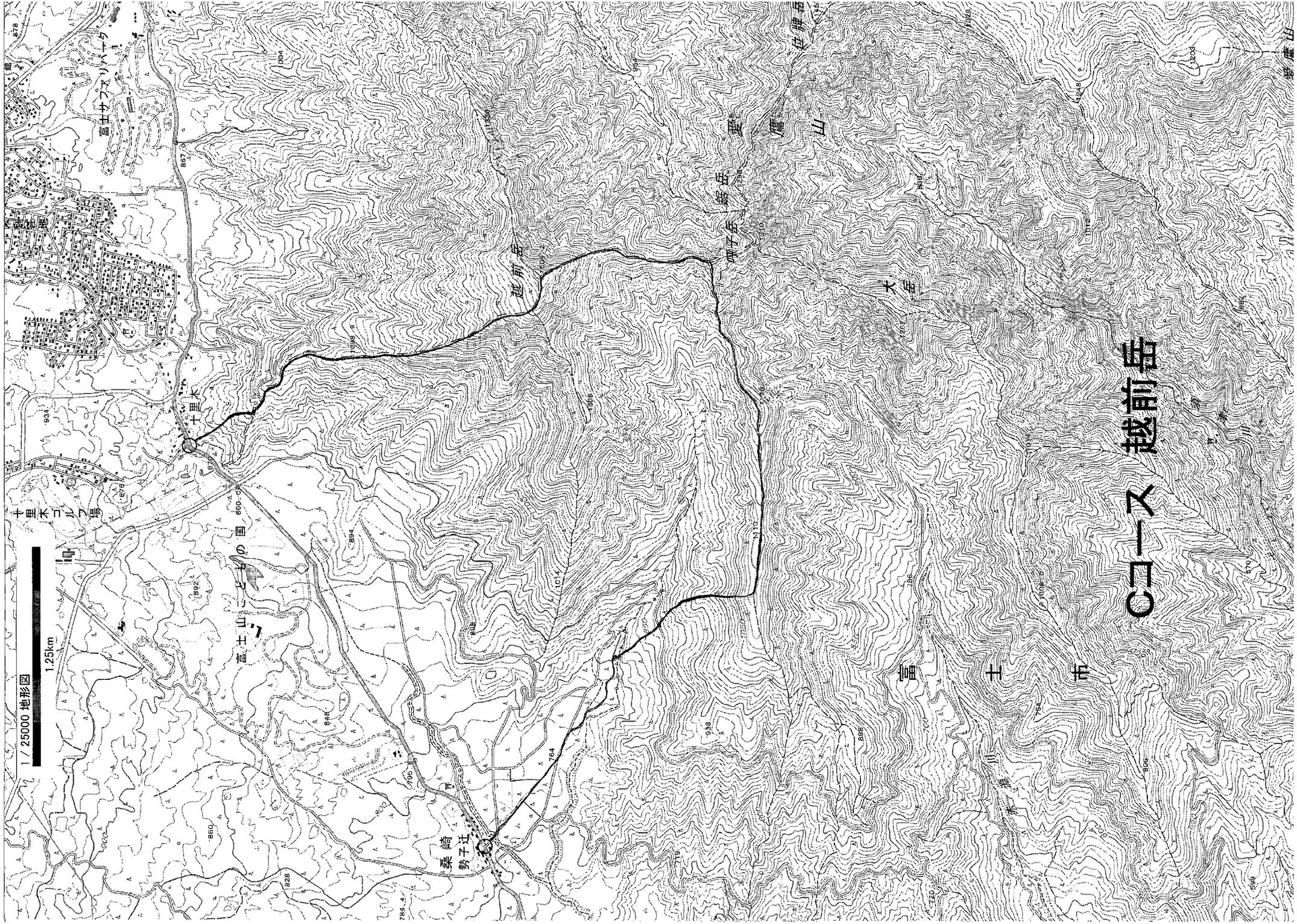
佐折

原

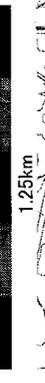
見返

# Bコース 天子ヶ岳—長者ヶ岳

1 / 25000 地形図  
1.25km



1 / 25000 地形図



十里木ゴルフ場

富士山にそよむの国 600-0

桑崎  
勢子辻

越前岳

大岳

大岳

富士市

コース 越前岳

17

566

606

607

608

609

610

611

612

613

614

615

616

617

618

619

620

621

622

623

624

625

626

627

628

629

630

631

632

633

634

635

636

637

638

639

640

641

642

643

644

645

646

647

648

649

650

651

652

653

654

655

656

657

658

659

660

661

662

663

664

665

666

667

668

669

670

671

672

673

674

675

676

677

678

679

680

681

682

683

684

685

686

687

688

689

690

691

692

693

694

695

696

697

698

699

700

701

702

703

704

705

706

707

708

709

710

711

712

713

714

715

716

717

718

719

720

721

722

723

724

725

726

727

728

729

730

731

732

733

734

735

736

737

738

739

740

741

742

743

744

745

746

747

748

749

750

751

752

753

754

755

756

757

758

759

760

761

762

763

764

765

766

767

768

769

770

771

772

773

774

775

776

777

778

779

780

781

782

783

784

785

786

787

788

789

790

791

792

793

794

795

796

797

798

799

800

801

802

803

804

805

806

807

808

809

810

811

812

813

814

815

816

817

818

819

820

821

822

823

824

825

826

827

828

829

830

831

832

833

834

835

836

837

838

839

840

841

842

843

844

845

846

847

848

849

850

851

852

853

854

855

856

857

858

859

860

861

862

863

864

865

866

867

868

869

870

871

872

873

874

875

876

877

878

879

880

881

882

883

884

885

886

887

888

889

890

891

892

893

894

895

896

897

898

899

900

901

902

903

904

905

906

907

908

909

910

911

912

913

914

915

916

917

918

919

920

921

922

923

924

925

926

927

928

929

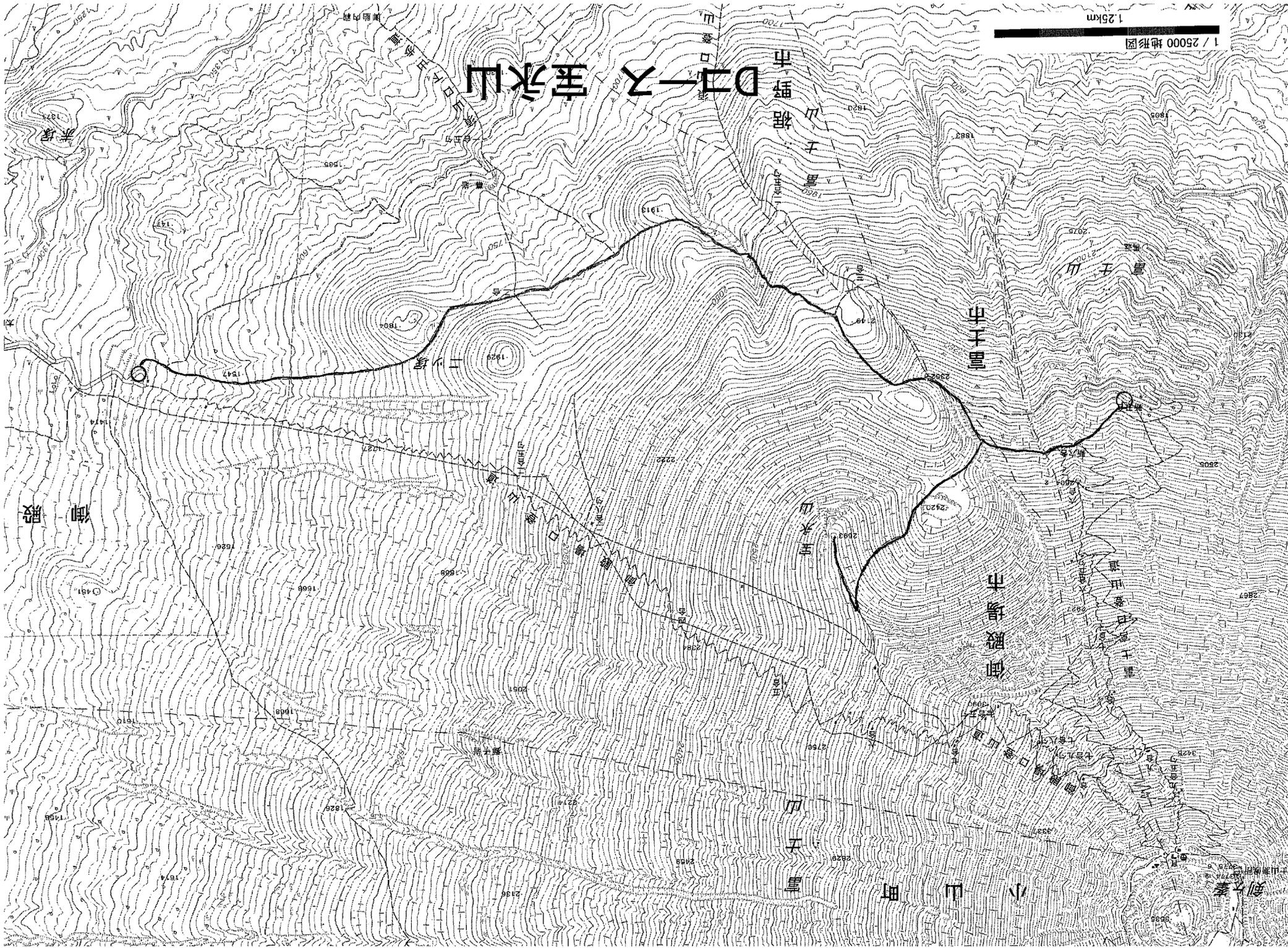
930

931

932

933

# 野口入室永山



野口町

野口市

野口町

野口



田貫湖一東海自然歩道

市  
高  
原

東京大塚  
大塚  
大塚

## ホテルアソシア静岡



JR 静岡駅から徒歩 1 分

〒420-0851 静岡県静岡市葵区黒金町 56 番地 Tel: (054) 254-4141 Fax: (054) 255-3721

東名高速道路静岡 IC より約 4km 15 分

静清バイパス昭府 IC より約 5km 20 分



# 第49回全日本登山体育大会参加申込書

平成22年 月 日

※コピーを2部お取り下さい。1部は保管、もう1部は所属山岳連盟(協会)へ送付して下さい。

★送付先

トップツアー(株)静岡支店

〒420-0853

静岡市葵区追手町9-28(興産ビル8階)

TEL:054-255-1919

**FAX:054-252-9509**

担当:長谷川

記載責任者名 (参加者代表)		役職		所属山岳会名称
住所 (書類送付先)	〒			
連絡先	TEL		FAX	携帯

	フリガナ 参加者名	住所	男女	年齢	生年月日	希望コース ※①	来県交通手段 ※②	OP 観光	航空券 ※③
例	シズオカフジオ 静岡富士男	〒420-0853 静岡市葵区追手町9-28	男	58	T S H 27年1月1日	第一希望 A 第二希望 C	車・JR 航空機+JR	A	要・不要
1		〒				第一希望 第二希望	車・JR 航空機+JR		要・不要
2		〒				第一希望 第二希望	車・JR 航空機+JR		要・不要
3		〒				第一希望 第二希望	車・JR 航空機+JR		要・不要
4		〒				第一希望 第二希望	車・JR 航空機+JR		要・不要
5		〒				第一希望 第二希望	車・JR 航空機+JR		要・不要
6		〒				第一希望 第二希望	車・JR 航空機+JR		要・不要

※① 必ず第二希望もお書きください ※② 静岡への利用交通手段に○印をお付け下さい ※③ 富士山静岡空港まで航空機を利用希望の方はご記入下さい。当社より連絡させていただきます。(5名以上) ※6名以上で参加申し込みの場合はこの用紙をコピーしてご使用ください

トップツアー(株)静岡支店行き

振込控え添付欄

振込明細欄			
項目	単価	数	合計
参加費	33,000		
振込金額			

領収書発行依頼書	
宛名	
金額	
但し書き	
宛名	
金額	
但し書き	
送付先	〒



守ります。美しい日本の山。